



四
月

パストラル尼崎

卯
月

No.97, 2020(R2)年3月25日

〔編集・発行〕

パストラル尼崎

尼崎市潮江1丁目10-2

Tel. 06-6493-0521

Fax. 06-6493-0301

発行責任者：池田 広樹

百年前の『スペイン風邪』

今、新型コロナウイルスが世界中を恐怖に陥れています。100年前、今と同じようにパンデミックを起こした「スペイン風邪」は、全世界の3割の人が感染したといわれ、高齢者より青年層で大量の死者が出ました。当時の日本でも、人口5600万人に対し45万人が亡くなっています。

日本でスペイン風邪が確認されたのは、1918年、台湾に巡業した3人の力士が肺炎等によって死亡した事が契機といわれています。人口過密地帯は被害が大きく、とりわけ神戸の被害は甚大となり、夢野と春日野の火葬場には遺体が溢れ返ったそうです。

興味深いのは、高度な医療機器のない当時の内務省衛生局が、今の政府と酷似した予防法で一般民衆に呼び掛けています。「マスク着用」「患者の隔離」をはじめ、学校の休校や人ごみの禁忌など、現在の状態と重複する部分が多く、また各地での集会、興行、力士の巡業、活劇なども続々中止、または閉鎖されていきました。先日、安部首相は、この休校などの要請は、スペイン風邪の対応を参考にしたと明らかにしています。

このようにして、日本各地で猛威を振るったスペイン風邪は、1920年が過ぎると自然に鎮静化します。ウイルスが、日本の隅々にまで拡大し、生き残った人々が免疫抗体を獲得したからといわれています。

先ごろ、「57度～60度のお湯を呑めばよい！」や、「トイレトペーパーが無くなる！」などのデマが横行しましたが、100年前も、ネズミを焼いて粉末にして薬にしたり、須磨区にある多井畑（たいのはた）厄除け八幡宮の護符を買うために兵庫電鉄は、朝から寿司づめ状態になったとか・・・汗

昔から人類は何度もこのようなパンデミックを経験しながら乗り越えてきたそうです。100年前より科学は数段進歩しています。まずは落ち着いて、手指の消毒や、マスクの着用、ウイルスに打ち勝つ免疫力を高める事などで、冷静にこの困難を乗り越えたいと思います。



◆ 四月の歳時記 ◆



○ 「ザゼンソウ」

4月に咲く「ザゼンソウ」という花をご存知ですか？

その姿が、僧侶が座禅を組む姿に似ているということで名づけられたようですが、この「ザゼンソウ」なんと自ら発熱しているのだそうです！その温度、約20度。発熱している部分は、真ん中のイボイボの肉穂花序とよばれる部分。ちなみに、花のように見えるのは仏炎苞とよべれます。

発熱現象は、開花している時期に1週間くらい続きます。気温が低いときでも受精しやすい状態を作るためだそうです。周りの雪を溶かし、ポツカリそこだけ穴を開けて顔を出している「ザゼンソウ」を見ると、まるで寒さに耐えて厳しい修行を積んでいる僧侶そのものに見えますね。頑張り！

ザゼンソウ！ ちなみにヒトデカズラは40度も発熱するそうですよ。汗

令和2年度

パストラルシニア大学

女子大

パストラルシニア大学も、すでに開校6年目。今年度も多彩な講師を迎え、充実した内容で開催します。過去の講師陣からその熱心な受講姿勢を絶賛されている皆様。今年も皆勤賞めざして頑張りましょう。

* 4月は、開講前の女子大を開催します。男性も大歓迎。

【パストラルシニア女子大】


～羊毛フェルト展～

『かわいい動物たち』

・日時：4月20日(月) 14時～

・場所：サークル①

・講師：フェルト・デラ・マンマの皆さま



本物そっくりの羊毛フェルト人形、是非逢いに来てください。男性ももちろん大歓迎です！（イメージ画像）